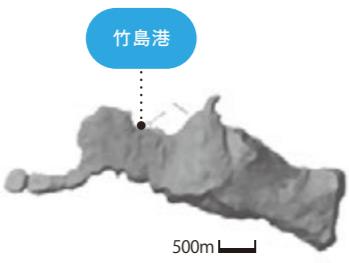


竹島



竹島地区 40代 男性

思い出話

「2016年から水温が上がると、サンゴが一時的に色を失っています。病気に見えて気持ち悪いです。」

地球の現象に関係深いサンゴは、1990年代から地球温暖化の影響を受けています。温暖化で海水温が上昇して、褐虫藻がサンゴの体内から出でてしまうのだ。褐虫藻の喪失でサンゴは色は無くして白化し、栄養も不足して死んでしまう。

また、サンゴ礁は地形の名で、サンゴなどの遺骸が堆積してできた地形のこと。サンゴ礁のある地盤が上昇して、海面上に現れたサンゴ礁を、離水サンゴ礁や隆起サンゴ礁などと呼び、この地殻変動で生まれた島はトカラ列島・先島諸島までの琉球諸島でよく見られる。

サンゴは三島や南方の海の他にも棲んでいます。触手や口や内臓、神経や筋肉をもつ動物で「刺胞動物門」というグループにあたる。同じグループのクラゲやイソギンチャクのように、C刺胞(しほう)という毒針ももつていて、同じグループにあたる。

白化したサンゴ